

非文字資料研究センター共同研究
「東アジアの租界とメディア空間」(以下、租界メディア班)の研究会開催の記録

(※21世紀COEプログラムと非文字資料センターのニューズレター、年報、ホームページなどで確認できるものを掲載してあります。報告者の肩書などは当時のままです)

■21世紀COEプログラム(2003年～2007年)

2003年度

第1回 2003年6月18日 神奈川大学人文学会『人文研究』第149号—「特集 戦前中国における日本租界の研究」

第2回 2003年12月5日 最近の上海市関連の地方誌出版について(孫安石、神奈川大学)

2005年度

第3回 ワークショップ『歴史研究における図像資料のデジタル化』

共催: 21世紀COEプログラム、神奈川大学人文学会

日時: 2005年4月28日

報告: 「情報技術と歴史・文化研究—空間情報としてみる非文字資料—」(柴山守・京都大学)

「非文字資料の大規模デジタル・アーカイブと先端技術」(小野博・コンテンツ株式会社)

「近代東アジアの文字/非文字資料のデジタル化と公開利用」(貴志俊彦)

「戦争と画報—「支那事変」関連の画報と租界」(孫安石)

2006年度

第4回 第3班課題3研究会『「音」という非文字資料を考える』

共催: 21世紀COEプログラム・東アジアメディア産業研究

日程: 2006年7月8日

報告: 「満州国ラジオ録音盤の発見について—『音』という非文字資料」(野村優夫 NHKアナウンサー)

第5回 「楊貴妃になりたかった男たち」武田雅哉(北海道大学)、2006年7月22日

第6回 「上海在華紡関連施設、住宅の調査報告」(大里浩秋、孫安石、富井正憲) 2006年10月19日

場所: 神奈川大学横浜キャンパス 17号館 23室

第7回 「天津、台湾の資料関連報告」2006年7月30日

場所: 神奈川大学横浜キャンパス 17号館 23教室

「中国・天津の租界関連資料について」(貴志俊彦、島根県立大学)

「台湾における日本租界関連資料について」(川島真、北海道大学)

第8回 ワークショップ『中国における日本租界研究』

共催: 神奈川大学大学院中国言語文化専攻

日時: 2007年3月2日

報告: 「台湾国史館の日本租界関連資料から読み取れること」(大里浩秋)

「漢口の日本租界をめぐる日中の攻防」(孫安石)

「横浜住民からみた居留地の外国人」(斎藤多喜夫 横浜都市発展記念館)

「上海の在華紡の住宅調査報告」(富井正憲)

「在華紡の福利施設—内外綿上海工場の事例」(芦沢千絵 東京大学博士課程)

「中国における最近の租界研究動向」(陳祖恩 中国・上海東華大学)

2007年度

第9回 第3班研究会と打ち合わせ 2007年4月6日

第10回 第3班研究会と打ち合わせ 2007年4月18日

第11回 2007年5月23日(水)

場所：神奈川大学・横浜キャンパス 17号館23室
「天津・青島の在華紡調査報告」 富井正憲氏(神奈川大学)

第12回 第3班研究会と打ち合わせ 2007年6月15日、

第13回 第3班研究会と打ち合わせ 2007年6月19日

第14回 朝日新聞大阪支局・富士倉庫の戦前写真資料の調査 2007年7月18日—19日
場所：朝日新聞大阪支局

第15回 長春の旧満鉄附属地の調査 2007年7月22—27日
場所：中国・長春(吉林大学、吉林省档案馆など)
内容：吉林大学、吉林省档案馆などが所蔵する満鉄関連資料の調査

第16回 青島の在華紡関連社宅の建築調査・档案馆の調査 2007年7月22—27日
場所：中国青島(青島市档案馆、旧公大紗廠の社宅調査)

第17回 シンポジウム「中国進出の日本企業とその建築 - 戦前の紡績業」2007年10月26日
場所：1号館—308室

- (1) 「上海と青島の在華紡建築の調査報告」 富井正憲(神奈川大学)
 - (2) 「日本の紡績建築 - 兵庫県を中心に」 藤谷陽悦(日本大学)
 - (3) 「在華紡と中国」 富澤芳亜(島根大学)
 - (4) 「近代日本の青島での紡績業及山東経済の変遷」 庄維民(山東省社会科学院)
- コメンテーター：貴志俊彦(神奈川大学)・孫安石(神奈川大学)

第18回 研究会「領事裁判研究の新視点」(中網栄美子、早稲田大学講師) 2007年12月13日

第19回 「第3回国際シンポジウム租界、神社の遺跡から過去の実態を読み解く試み」
日時：2008年2月23日
報告：「旧在華企業の居住環境—公大紡績住宅を中心に—」(富井正憲)
「漢口日本租界と日本人—菊地洋氏の資料を中心に—」(孫安石)
「旧満州国における神社のありよう」(津田良樹)
「倭城と近世城郭」(三鬼清一郎)

■非文字資料研究センター(2008年—2013年12月末現在)

2008年度

第20回 「第1回公開研究会『非文字資料としてのポスターの保存と活用』」

日時：2008年10月25日

会場：みなとみらいKUポर्टスクエア

報告：「総論：ポスター研究の現状と課題」(田島奈都子 姫路市立美術館)

「企業史料館としての立場から：所蔵ポスターの保存・修復・公開」(廣田元 高島屋史料館)

「公共図書館としての立場から：デジタル・アーカイブ化の試み」(奥野進 函館市中央図書館)

「教育研究機関としての立場から：満州(国)ポスターの学術利用の事例」(貴志俊彦)

第21回 「第4回公開研究会『探索租界研究的新的可能性—上海研討会』」

共催：中国・東華大学人文学院(中国・上海文庙会議室 上海市文庙路215号)

日時：2009年3月28日

報告：「上海のThe North China Heraldと日中関係史について」(孫安石)

「上海の租界と韓国人」(金光載 韓国・国史編纂委員会)

「中国における“外国人”人口統計データベースを利用した地域人口分析」(貴志俊彦)

「時代のシンボル、文明の記憶」(羅蘇文 中国上海社会科学院歴史研究所)

「中国と韓国の旧鐘紡住宅地に関する調査報告」(富井正憲 韓国・漢陽大学校)

「仁川における日本および清国の租界」(韓東洙 韓国・漢陽大学校)

「武漢における日本租界地の保存と再生」(李百浩 中国・武漢理工大学)

2009年度

第22回 「第2回公開研究会『東亜地区租界生活之新議－仁川研討会』

共催：韓国・漢陽大学校建築大学東亜建築歴史研究室

日時：2009年10月24日（土）（韓国・仁川広域市中区 仁川ハーバー・パークホテル）

報告：「『満州国』発行の絵はがきと東アジア絵はがきデータベース」（貴志俊彦）

「国際保養地となった元山租界の現況」（呂煥鎮（株）Tribico代表理事）

「明治時代の上海日本人居留民の文明覚醒運動」（陳祖恩 中国・東華大学）

「仁川済物浦日本租界の文化・生活の諸相」（李熙煥 韓国・仁荷大学校）

「開発と保存のダイナミクス－天津における文化遺産の現在－」（青木信夫 中国・天津大学）

「朝鮮の清国租界に関連する資料紹介」（孫安石）

2010年度

第23回 「第1回『中国・韓国の旧日本租界研究』研究会」

日時：2010年9月3日

報告：「朝鮮半島の灯台建設から見る日韓ライトチェーンの解明」（谷川竜一 東京大学）

第24回 「第2回公開研究会『中国・朝鮮における租界研究のいま』」

日時：2010年11月26日（金、神奈川大学横浜キャンパス 1号館308会議室）

報告：「租界研究の現状と展望」（大里浩秋）

「日本人がみた上海－『上海案内』の世界」（孫安石）

「漢口租界研究について」（袁継成 中国武漢・元中南財經政法大学）

「広州の租界研究と海関」（李愛麗 中国 中山大学）

「朝鮮近代史と木浦の租界」（高錫珪 韓国・木浦大学校）

「朝鮮の清国租界－釜山を中心に」（韓東洙 韓国・漢陽大学校）

「東アジアにおける紡績工場～鐘紡社宅を中心に」（富井正憲 韓国・漢陽大学校）

「横浜居留地の歴史と建築」（内田青蔵）

2011年度

第25回 「第1回『東アジアの租界とメディア空間』研究会」

日時：2011年6月3日 内容：研究会と打ち合わせ

第26回 「第2回『東アジアの租界とメディア空間』研究会」

日時：2011年7月1日 報告：「中国近代の演劇と図像資料－非文字資料研究への視座」（吉川良和）

第27回 「第3回『東アジアの租界とメディア空間』研究会」

日時：2011年7月22日 1

報告：「中国のタバコ産業とカレンダーの印刷」（李培徳 中国・香港大学）

「1930. 京城の展覧会の報告」（富井正憲 韓国・漢陽大学校）

「第1回公開研究会『京城の都市・建築そして生活』」

日時：2011年12月16日（金）

会場：神奈川大学横浜キャンパス 16号館地下1階 視聴覚B室

報告：「モダン京城の都市と建築～展覧会／本町・鐘路」（富井正憲 韓国・漢陽大学校）

「韓国近代の京城の内部探査－雑誌『別乾坤』を対象に」（車恵英 韓国・漢陽大学校）

「近代京城の都市韓屋とその暮らし」（金容範）

第29回 「第4回『東アジアの租界とメディア空間』研究会」

日時：2012年1月18日

報告：「居留地研究の現状と課題」（斎藤多喜夫・元横浜開港資料館調査研究員）

第30回 「第2回公開研究会『新メディアと近代上海』国際シンポジウム」

共催：上海師範大学都市文化研究センター・ソウル市立大学都市人文研究所

日程：2012年2月25日～26日（中国・上海師範大学都市文化研究センター 大会議室）

報告：第一部 新聞メディアと上海の近代

「江南商務報と1901年の上海」（載鞍鋼 中国・復旦大学）

「新聞と近代国民性の形成—『杭州白話報』を事例に」（謝俊美 中国・華東師範大学）

「映画の記録から見る上海の記憶—ソ連の『上海紀事』を中心に」（張景岳 中国・上海音象資料館）

「映像に描かれたアジアの都市研究—清水宏監督の『京城』」（富井正憲 韓国・漢陽大学校）

第二部 上海 - 新聞と文学の狭間

「上海での日本人の新聞雑誌の発行—『上海新報』と『上海案内』を事例に」（孫安石）

「上海現代派が書き直したジャポニズム小説—『蝶々夫人』について」（中村みどり 早稲田大学）

「鲁迅と瞿秋白の翻訳に関する討論をめぐって」（鈴木将久 明治大学）

「1930年代中期以降の中国モダニズム文学について」（城山拓也 大阪市立大学）

「1930年代の日本の上海イメージ『犯罪科学』と『犯罪公論』」（徐青 中国・浙江理工大学）

第三部 現代上海とメディア社会

「上海で働く日本人女性—その現状とメディアが学生たちに伝えたこと」（石川照子 大妻女子大学）

「サンタが上海にやってきた」（岩間一弘 千葉商科大学）

「清末画報の中の女性と都市空間」（姚霏 中国・上海師範大学）

「戦前期の日本で製作されたポスターに見られる“中国モチーフ”」（田島奈都子 姫路市立美術館）

「日本の租界研究動向について」（大里浩秋）

「『銀行週報』（1917-1925年）と近代上海の銀行業」（金承郁 韓国・ソウル市立大学校）

第四部 メディアと都市文化

「清末民初の妓女とメディア」（邵雍 中国・上海師範大学）

「上海における欧米ラジオ放送について」（張姚俊 中国・上海市檔案館）

「言論の自由を守れ—近代上海の記者クラブ」（江文 中国・上海社会科学院）

「近代新聞と都市文化研究—上海の小報を中心に」（洪煜 中国・上海師範大学）

「場所を記憶するメディアとしての“歴史景観”」（韓智恩 韓国・ソウル市立大学校）

「R. H. ブラントンによる横浜居留地の下水道整備について」（内田青蔵）

2012年度

第31回 「第1回公開研究会『図像資料が語る近代中国のイメージ』」

日時：2012年6月2日（土、神奈川大学横浜キャンパス 1号館804会議室）

報告：「イギリス人画家ウィリアム・アレグザンダーが演出した18世紀末期の中国」

（ウィリアム・シャング 多摩大学）

「日本人外交官が収集した中国近代絵画：京都国立博物館須磨コレクションについて」

（呉孟晋 京都国立博物館）

「戦前期の日本製ポスターに見られる中国イメージ」（田島奈都子 姫路市立美術館）

第32回 「第1回『東アジアの租界とメディア空間』研究会」

日時：2012年7月6日

報告：「台湾統治と厦門」（栗原純 東京女子大学）

第33回 「第2回『東アジアの租界とメディア空間』研究会」

日時：2012年10月5日

報告：「植民地朝鮮の大地主と農場村，熊本農場の遺跡調査を中心に」（金容範）

第34回 「第3回『東アジアの租界とメディア空間』研究会」

日時：2013年1月11日

報告：「上海租界と百貨店研究について」（菊地敏夫）

「上海租界と越界路の設定」（孫安石）

「台湾国史館の租界関係資料について」（大里浩秋）

第35回 シンポジウム「グローバル時代と東アジアの文化表象Ⅰ」

日程：2013年2月1日～2日

主催：漢陽大学校東アジア文化研究所

場所：韓国 漢陽大学校

- 報告：「韓国近・現代の住居文化の表象としての文化住宅」（金容範）
 「“洋風”から“和洋併存”あるいは“和洋混交”へ —明治初期の和洋館並列型住宅様式の成立過程にみる国家的住宅様式の誕生に関する一考察—」（内田青蔵）
 「揺れ動く『日本的』な富士山」（李京僖 韓国・漢陽大学校）
 「無形文化財から無形文化遺産へ—グローバル時代の文化表象」（丁秀珍 韓国・東国大学校）
 「絵葉書というテキストと植民地朝鮮」（朴美貞 国際日本文化研究センター）
 「韓半島地形の視覚的表象—主体の眼と他者の眼」（睦秀炫 韓国・ソウル大学校）
 「日韓同祖論と神社」（菅浩二 國學院大學）
 「『神国日本』のイメージ変遷」（裴寛紋 韓国・外国語大学校）

2013年度

第36回 「第1回『東アジアの租界とメディア空間』研究会」

日時：2013年5月24日16:00~18:00

- 報告：「民国期上海メディアの香港における“転生”—戦中、戦後の『良友』画報から—」（村井寛志）
 「韓国・国民大学中国人文社会研究所のシンポ「現代中国知識网络的動力」の報告（孫安石）」

第37回 「第1回公開研究会『アジア都市研究：回顧と展望』（アジア都市フォーラム）」

共催：ソウル市立大学都市人文学研究所・上海師範大学都市文化研究センター・神奈川大学非文字資料センター

日程：2013年5月30日~31日

場所：韓国 ソウル市立大学 国際会議場

報告：セッション1 アジア都市研究の展望

- 「上海租界研究：台湾國史館所蔵資料の紹介」（大里浩秋）
 「中国の都市化過程と都市文化の研究」（楊劍龍 中国・上海師範大学）
 「都市研究のための国際的記録の役割」（岡野浩 大阪市立大学）

セッション2 都市の経験と認識

- 「上海の日本語新聞『上海日報』（1929年）が見た日中関係」（孫安石）
 「日本人女学生の第一次上海事変体験—上海日本高等女学校校刊の考察—」（石川照子 大妻女子大学）
 「日本の中国人作家の東京・上海文学地図—陶晶孫の活動」（中村みどり 早稲田大学）
 「The Topographical Map and the Identity of the Chinese Urban Film」（林春城 韓国・木浦大学校）
 「Spatial Perception of Koreans Residents on Shanghai in the Early 20th Century」（金承郁 韓国・ソウル市立大学校）

セッション3 都市住民と都会の変遷

- 「現代都市住民の伝統への追求」（銭杭 中国・上海師範大学）
 「From Squatter Area to ‘Wonderland’ of Cultural Heritage: The case of Sham Shui Po in Hong Kong」（張貞娥 韓国・仁川大学校）
 「Women’s consumption and consumption of women -Yuefenpai (月份牌) advertisement pictorial and the making images of “Modern woman(摩登女)” in Modern China」（李培徳 中国・香港大学）
 「How Greater Hanoi, a regional city in transition, manages the implementation of sustainable development?」（Helga-Jane Scarwell, D. Leducq, D. Tran Dinh フランス・リール第1大学）

セッション4：都市と地域社会

- 「Innovation clusters and universities reorganization in the Greater Paris」（Patrizia Ingallina フランス・リール第1大学）
 「“Where is my village?” : Urban village movement, identity building and its boundaries in a downtown district of Seoul」（南榮浩 韓国・ソウル市立大学校）
 「NPO and the juvenile social education of the underlying immigration」（彭善民 中国・上海師範大学）
 「Intimacy and Publicness in Urban Communities」（鄭聖勳 韓国・ソウル市立大学校）
 「Lacan’s Topology: Joyce’s Symptom/Sinthome and Placeness」（洪準其 韓国・ソウル市立大学校）

第38回 「第2回『東アジアの租界とメディア空間』研究会」

日時：2013年7月25日

- 報告：「上海の日本語新聞『上海新報』がみた中国（I）」（孫安石）
 「大連の中国語新聞『泰東日報』と植民地都市のトポス」（橋本雄一、東京外大）
 「大連の歴史地図の作成について」（木之内誠、首都大学東京）

第 39 回 「第 3 回『東アジアの租界とメディア空間』研究会」

日時：2013 年 10 月 18 日

報告：「東亜同文会の資料からみる租界関連の記事—上海、漢口、杭州など（大里浩秋）

「Legendary Sin Cities: Paris Berlin & Shanghai」の上海部分の検討（孫安石）

第 40 回 「第 4 回『東アジアの租界とメディア空間』研究会」

日時：2013 年 12 月 18 日

報告：「横浜居留地のメインストリート日本大通りの成立過程について—幕末から震災復興期まで」

（内田青蔵）

「神奈川大学に寄贈した天津関係絵はがきについて」（近藤恒弘、個人収集家）

以上